

(社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 68

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>事務局 takao.murohashi@nifty.ne.jp

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

年頭所感

社団法人北海道臨床工学技士会 会長 真下 泰

新年明けましておめでとうございます。2006年の新春を新たな気持ちでお迎えでき、本年が会員皆様にとっても、当会にとっても良い年になることを願っております。また、日ごろより当会の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜っております関係各位の皆さまに深く感謝申し上げます。

昨年5月21、22日の両日にわたり、札幌コンベンションセンターにて第15回日本臨床工学会を開催させていただきました。両日も天候に恵まれ、北海道らしい爽やかな日の中、1328名（正会員593名、非会員330名、学生175名、企業141名、スタッフ89名）の参加をいただき、盛会裡に終えることができました。これもひとえに会員および賛助企業、関係団体の皆様の多大なるご支援の賜物と感謝致します。あらためまして、今回の学会準備に大変尽力していただいた準備委員、当日のスタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

本年、医療制度改革と診療報酬改定が大きな関心事であります。その中で臨床工学技士を取り巻く環境も年々変化しております。昨年12月に高度先進医療施設の施設基準の臨床工学技士が盛りこめられましたこともそのひとつであります。われわれの業務が診療報酬に反映させることが最大の懸案事項であります。一方で、医療の安全を確保することは臨床工学技士に課せられた使命の一つであることは皆さんも重々知っていることと存じます。昨年、「医療の安全の確保にどの様にかかわっていただけるか？また、その方向性を示すことができるか？」をテーマにしました。我々臨床工学技士に課せられた最も重要な役割・期待は、臨床における医療機器関連の安全性を確保するマンパワーとなり、医療の安全の確保、質の向上につとめ、医療機器の安全管理者としての責任を遂行することにあります。本年もそのような方向のなかで「個々のスキルアップと技術の研鑽」ということを重点に、技士会としての教育、研修システムの構築を行いたいと思います。新人教育も重要な課題であります。教育現場と臨床現場は違うものということは皆さんも認識されていることと思います。そのギャップをどのように埋めていくかも現場・養成校・技士会と一緒に考えていきたいと思っております。

厚生労働省が医療機器産業ビジョンの中で臨床工学技士の活用について言及し「医療機器安全管理室」の設置など、臨床工学技士の必要性が盛んに謳われています。しかしながら現実問題として計画通り進んでいないのが現状です。そのこともふまえて技士会が中心となり訴えていかなければならない課題がまだまだ山積みになっております。道政にお願いするには組織率が重要であります。技士会の活動にご理解をいただき未入会の方を是非勧誘していただきたいと思っております。「スキルアップと新人教育」という問題を教育委員会、安全管理委員会を中心に会員の幅広い意見を反映させながら、国や道の政策に整合性をもたせた内容で取り組みたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

以上、本年も臨床工学の発展と医療の安全に寄与することを目標に安全面、教育面を考え、我々臨床工学技士が十分な知識と技術を身に備え、専門医療職としての社会的役割を果たすため活動していく所存でありますので会員の皆様、関係各位の皆様のご理解、ご協力、ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

2006年2月7日

(社)北海道臨床工学技士会選挙管理委員会

会員各位

第3期理事・監事選挙告示

(社)北海道臨床工学技士会役員選出規程に従い、下記の通り立候補者を告示いたします。今回は、(社)北海道臨床工学技士会役員選出規程第5章第17条により無投票で当選となります。異議のある場合は、2月21日までに(社)北海道臨床工学技士会役員選出規程第7章第21条の通りお願いします。

Table with 3 columns: Name, Address, and Position. Candidates include 真下 泰, 加藤伸彦, 石川幸広, 室橋高男, 脇田邦彦, 山本浩幸, and 井関竹男.

(受付順)

(第1号様式)

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

届出日 平成 17 年 12 月 20 日

Ballot form for the 3rd term election. Includes fields for candidate name (真下 泰), gender (男), age (43), and birth date (昭和27年5月30日). Includes a handwritten statement of intent and a list of affiliated organizations.

【注】この用紙の用紙はそのまま選挙公報の原としてコピーして使用いたします。選挙のいづれにも〇印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

(第1号様式)

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

届出日 平成 17 年 12 月 3 / 日

Ballot form for the 3rd term election. Includes fields for candidate name (加藤 伸彦), gender (男), age (43), and birth date (昭和27年7月14日). Includes a handwritten statement of intent and a list of affiliated organizations.

【注】この用紙の用紙はそのまま選挙公報の原としてコピーして使用いたします。選挙のいづれにも〇印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

(第1号様式)

(第3号様式)

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

提出日 平成18年1月6日

提出日 平成18年1月10日

選挙の種類	第3期 理事・監事 (いずれか○印のこと：印が無い場合は無効です)
ふりがな	いしがき 勉 男 45 昭和11.17 00254
候補者氏名	石川 勇彦
所属	施設名: 仁民会 札幌病院 所在地: 〒 旭川市東下通9丁目4番1-2 部署: 臨床工学科 役職: 科長
公職理由(自叙)	現在、内部理事として広報担当に就いております。医療機関に製薬する臨床工学技士の立場として危機管理(災害、事故)問題は非常に重要です。これらの情報を迅速に共有するとともに会員の更なるレベルアップを目指していくことを目的として立候補いたしました。我々の活動が臨床工学技士の社会的地位向上の為、必ずや前進していく事を願っております。
推薦理由(推薦立候補のときの心)	推薦者氏名
経歴(職歴)・所属学会等	254号 仁民会 石川病院入職 日本臨床工学技士会 612号 仁民会 血液透析科副科長 日本アレルギー学会 414号 仁民会 石川病院へ異動 417号 仁民会 札幌病院(石川病院副科長兼)
受理日	平成18年1月11日 選挙管理委員会 荒道昭男

選挙の種類	第3期 理事・監事 (いずれか○印のこと：印が無い場合は無効です)
ふりがな	むらたし たかお 男 37 昭和43.12.11 00229
候補者氏名	室橋 高男
所属	施設名: JA北海道厚生連 札幌厚生病院 所在地: 〒 060-0030 札幌市中央区北3条東8丁目 部署: 臨床工学技術部門 役職: 係長
公職理由(自叙)	現在までの事務同の経験を活かし、今後の北海道臨床工学技士会ならびに臨床工学技士の発展に貢献したい。
推薦理由(推薦立候補のときの心)	推薦者氏名
経歴(職歴)・所属学会等	平成4年4月 医療法人札幌中央病院 臨床工学科に就職 平成7年3月 医療法人札幌中央病院を退職 平成7年4月 札幌社会保険総合病院 対応部に就職 平成13年7月 札幌社会保険総合病院を退職 平成13年8月 JA北海道厚生連札幌厚生病院 臨床工学技術部門に就職し現在に至る 平成15年4月 北海道臨床工学技士会に入会 平成17年4月 北海道臨床工学技士会 事務局長に就任し現在に至る
受理日	平成18年1月12日 選挙管理委員会 荒道昭男

【注意】この用紙の枠内はそのまま選挙公報の原稿としてコピーして使用いたします。選挙のいずれにも○印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

【注意】この用紙の枠内はそのまま選挙公報の原稿としてコピーして使用いたします。選挙のいずれにも○印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

(第1号様式)

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

提出日 平成18年1月11日

提出日 平成18年1月14日

選挙の種類	第3期 理事・監事 (いずれか○印のこと：印が無い場合は無効です)
ふりがな	わかた くにひこ 男 46 昭和34年6月26日 75
候補者氏名	脇田 邦彦
所属	施設名: 地域医療支援病院 旭川赤十字病院 所在地: 〒 070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目 部署: 救急部 臨床工学課 役職: 臨床技術係長
公職理由(自叙)	(社)北海道臨床工学技士会のさらなる飛躍のために微力ながら努力する所存です。
推薦理由(推薦立候補のときの心)	推薦者氏名 既に技士会ホームページ等、協力の力として協力を頂いていましたが、今後は技士会理事として表で活躍をお願い致したく、推薦します。 原下 帆 井関 竹男 見田 登
経歴(職歴)・所属学会等	1980年4月 札幌臨床検査センター入社 1980年8月 林田タリニック入職 1983年5月 旭川赤十字病院入職 現在に至る (社)日本臨床工学技士会会員 (社)北海道臨床工学技士会会員 日本人工臓器学会会員
受理日	平成18年1月13日 選挙管理委員会 荒道昭男

選挙の種類	第3期 理事・監事 (いずれか○印のこと：印が無い場合は無効です)
ふりがな	やま たく 男 44 昭和12.15 00006
候補者氏名	山本 浩幸
所属	施設名: 医療法人 札幌中央病院 所在地: 〒 064-0809 札幌市中央区南9条西10丁目 部署: 臨床工学科 役職: 科長
公職理由(自叙)	これまで学会・研修担当として専念してまいりました。組織の充実のために臨床工学技士会にも参加し、立候補いたします。
推薦理由(推薦立候補のときの心)	推薦者氏名
経歴(職歴)・所属学会等	白茅科4階医局 白茅産科医局 白茅人工臓器学会 北海道呼吸器学会
受理日	平成18年1月13日 選挙管理委員会 荒道昭男

【注意】この用紙の枠内はそのまま選挙公報の原稿としてコピーして使用いたします。選挙のいずれにも○印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

【注意】この用紙の枠内はそのまま選挙公報の原稿としてコピーして使用いたします。選挙のいずれにも○印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。

さっぽろバイタルサインセミナーのお知らせ

コメディカル及び現場の医師を対象にバイタルサインを勉強する場が企画されました。急性期におけるバイタルサインの見方を、基礎から応用まで実践に基づいて第一線の先生方にご講義頂ける内容となっております。ご多忙の折とは存じますが、多数出席賜りますようお願い申し上げます。詳細は道臨工ホームページをご覧ください。

日時 2006年4月29日(土) 13:30~17:30 (12:30開場)

会場 札幌コンベンションセンター

(札幌市白石区東札幌6条1丁目)

受講料 ¥1,000(テキスト代として)

締切 4月14日(金) 定員になり次第、締切と致します

申込 FAXまたはメールで承ります

(お申し込みの方へ“確認書”をFAXまたはメール致しますので当日ご持参下さい)

プランナー・座長 札幌医科大学 医学部 麻酔学講座 教授 並木 昭義 先生

<プログラム>

教育講演 「呼吸障害と修復・再生」

琉球大学 医学部 生体制御医科学講座 麻酔科学分野 教授

須加原 一博 先生

教育講演 「急性期循環管理の新しい展開」

金沢医科大学 侵襲制御学(麻酔学)教授

土田 英昭 先生

教育講演 「意識と鎮静」

岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 救急医学講座 教授

氏家 良人 先生

教育講演 「痛みへのアプローチ」

島根大学 医学部 麻酔科学講座 教授

齋藤 洋司 先生

(共 催) 株式会社 ムトウ

日本光電北海道株式会社

(後 援) 北海道医師会(生涯教育認定:3単位)

札幌市医師会

北海道看護協会

北海道臨床工学技士会

第12回第1種ME技術実力検定試験および講習会のお知らせ

第一種 ME 技術実力検定試験が行われます。今回から札幌でも試験が実施されることになりましたので、是非、積極的にチャレンジされてみてはいかがでしょうか。詳細は ME 技術教育委員会のホームページをご覧ください(<http://megijutu.jp/>)。

講習会実施要領

東京会場:平成18年4月 9日(日) 9:00~18:00 定員 200名
日本工学院専門学校(大田区西蒲田 5-23-22)
大阪会場:平成18年4月16日(日) 9:00~18:00 定員 150名
大阪医専(大阪市北区大淀中 1-10-3)(予定)

受講料:15,000円(テキスト1冊,問題解説集3冊の計4冊分含む)

対象者:第1種ME技術実力検定試験を受験したい方はどなたでも受講できます。
とくに次の方々にお薦めします。

- 1) 病院など医療機関でME機器の使用や保守・安全管理を担当されている方
- 2) 会社等でME機器の研究・開発、生産、販売、保守を担当されている方
- 3) 学生などでME機器の保守・安全について関心をお持ちの方

申込〆切:平成18年3月6日(月){ただし、定員に達し次第締め切らせていただきます。}

検定試験実施要領

期 日:平成18年6月25日(日) 9:00~17:00

試験会場:《東京会場》東京電機大学神田キャンパス(千代田区神田錦町 2-2)
(大阪会場) 現在選定中
(札幌会場) 北海道大学(札幌市北区北14条西9丁目)(予定)

受験料:(初回受験者)20,000円 (科目合格者および再受験者)12,000円

受験資格:次のいずれかを満たしていること。(実務経験に関わらず受験できます。)

- a. 第2種ME技術実力検定試験合格者
- b. 臨床工学技士免許所有者

試験方法:筆記試験で、ME基礎論(午前)、ME機器論(午後)の2つの科目で行われます。ME機器論には専門知識を問う選択問題と小論文が含まれます。

資料請求

詳しい資料(申込書等を含む)は各々下記の要領にてご請求ください。

講習会資料 :平成18年2月1日より受付

検定試験資料:平成18年4月1日より受付

請求方法 :返信封筒(長形3号の封筒に90円切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの)を同封の上、下記事務局宛にご請求ください。
必ず「第1種ME講習会資料希望」または「第1種ME試験資料希望」のいずれかを明記してください。

問合わせ先 :〒113-0033 東京都文京区本郷 2-39-5 片岡ビル 3F

ME技術教育委員会内

ME技術実力検定試験事務局

TEL / FAX:03-3813-5521

e-mail:jimu@megijutu.jp

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
編集委員	旭川医科大学附属病院	臨床工学室	宗万孝次
	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	市立旭川病院	臨床工学室	窪田將司

印刷

岡本印刷株式会社

札幌市北区新川西 2 条 1 丁目

3 番 2 1 号

0 1 1 - 7 6 6 - 2 5 5 1